

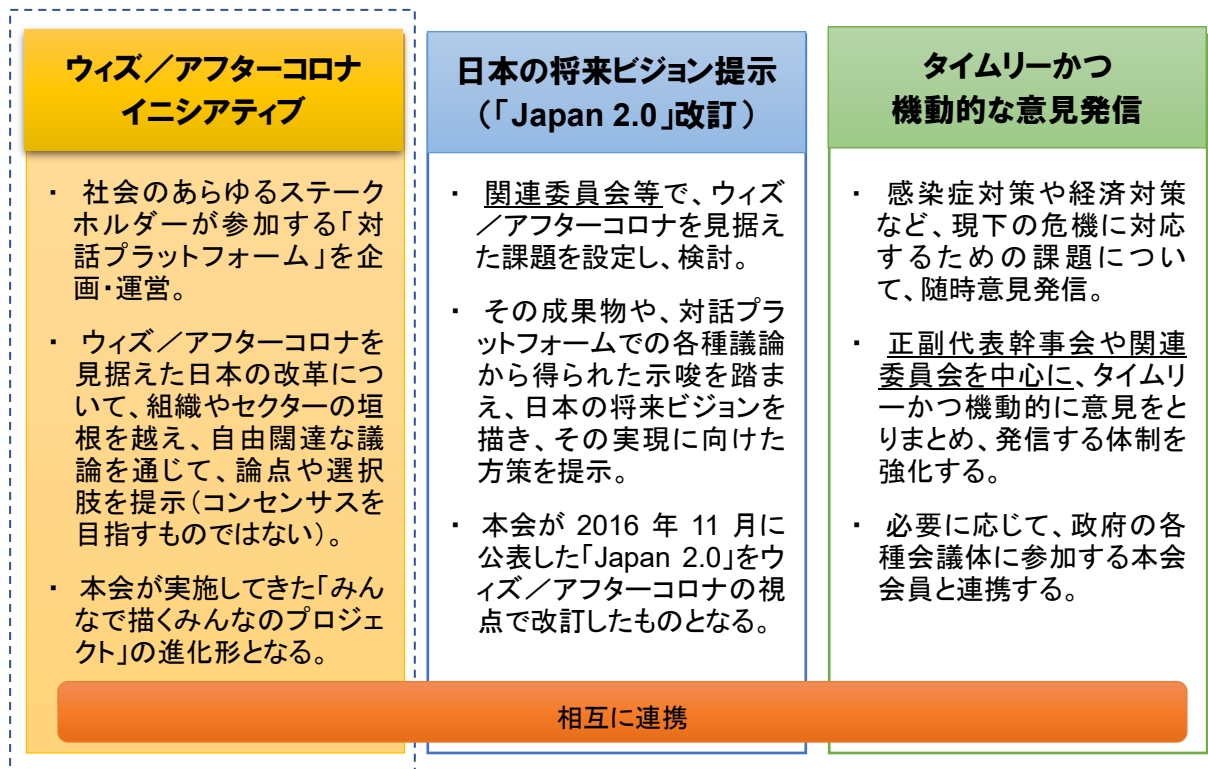


趣旨

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的拡大は、人類社会に未曾有の大変革を迫っている。ウィズ／アフターコロナの「新しい普通(ニューノーマル)」に向けて世界が動き出した今、わが国が国際社会で埋没しないためには、“旧き衣”を脱ぎ捨て、新たな国家ビジョンや戦略の下、その実現に向けた改革を断行・加速していかなければならない。
- しかし、複雑な絡み合った利害の調整に膨大な時間と労力を要する既存の政策形成プロセスだけでは、大胆な決断・実行は難しい。様々なステークホルダーが組織やセクターの垣根を越えて集い、自由闊達な議論を通じて、日本の将来に向けた重要課題を特定し、改革の論点・選択肢を提示していくための中立的な対話プラットフォームを構築することで、政策形成プロセスを複線化し、日本の変革に向けたうねりを生み出すことが必要である。
- こうした問題意識の下、経済同友会は新たに「ウィズ／アフターコロナ・イニシアティブ」を起ち上げる。

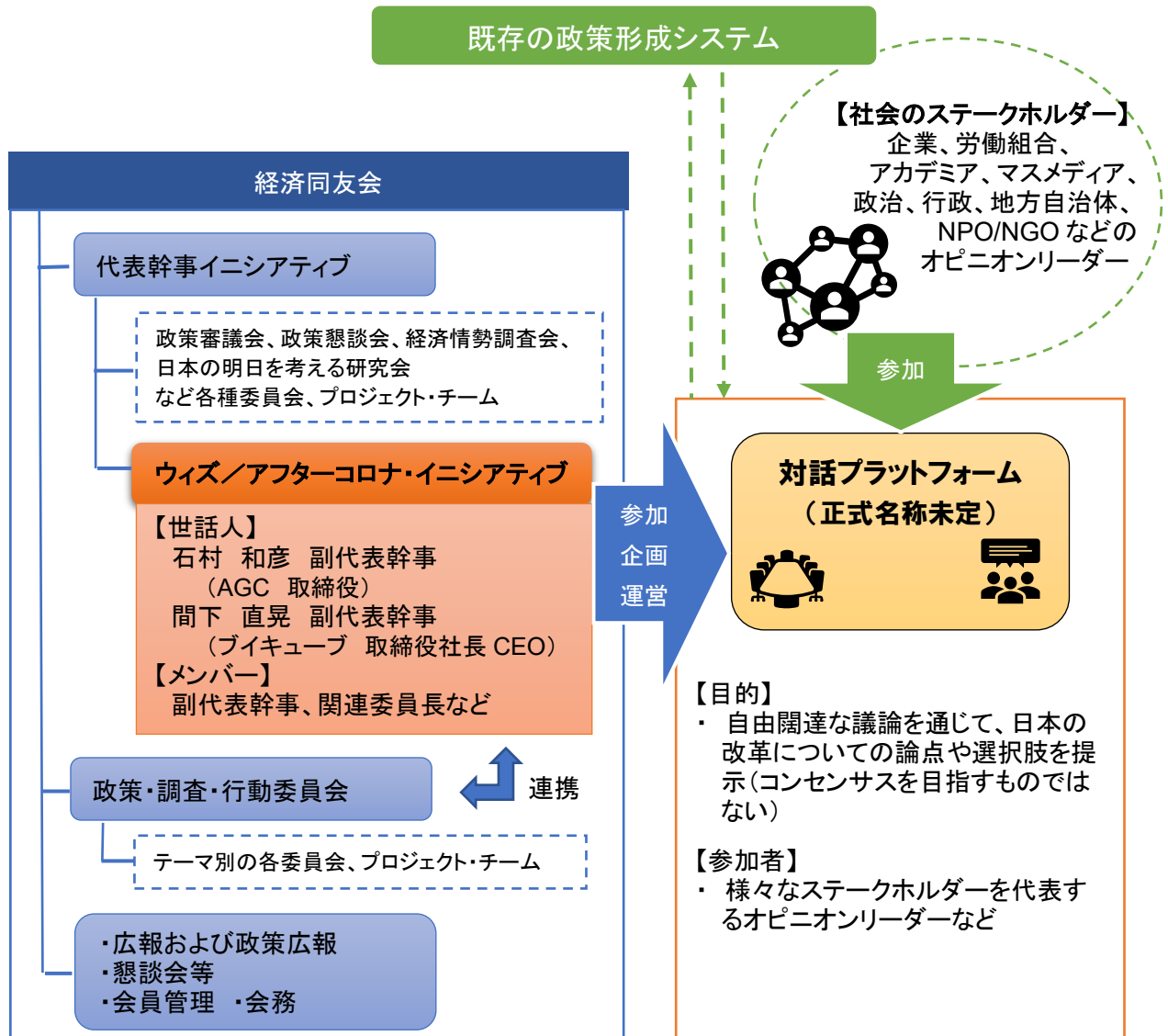
ウィズ／アフターコロナを見据えた本会の活動

- 本会は、ウィズ／アフターコロナを見据え、下記三つの柱を中心に活動する。上記「ウィズ／アフターコロナ・イニシアティブ」は、その柱の一つである。



「ウィズ／アフターコロナ・イニシアティブ」の位置付け

- 本会の「代表幹事イニシアティブ」事業の一つとして、「ウィズ／アフターコロナ・イニシアティブ」を設置する。本イニシアティブが実施する「対話プラットフォーム」は、本会会員のみならず、社会のあらゆるステークホルダーが参加する会議体である。



「対話プラットフォーム」におけるアジェンダ(例)

- 持続可能な分散型社会の構築(東京一極集中の是正と東京の都市競争力の強化)
- 若者の政治参画(インターネット選挙・投票、主権者教育)
- ウィズ／アフターコロナ時代の産業構造と雇用・働き方の変化
- コロナ危機後の財政健全化への道筋(独立財政機関の必要性等)
- ステークホルダー資本主義と企業価値の向上
- 危機に強い国家のあり方(意思決定システム、危機管理等)
- ウィズ／アフターコロナ時代の世界における日本(外交・安全保障、地政学的視点等) など